

<吹田市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・第2図書室(低学年用図書室)の設置(全小学校)
- ・読書活動支援者の配置(小学校は1校に1名ないしは2校に1名)

中学校

- ・読書活動支援者の配置(中学校は2校ないしは3校に1名配置)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

吹田市小学校教育研究会 学校図書館部

部長：吹田市立第6小学校 古川 順子首席

活動：月1回(第3水曜日が多い) 午後

- ・三島地区のSLAに関する活動
- ・年間計画による活動(今年は「ビブリオバトル」の研究)
- ・読書感想文コンクールの地区審査

吹田市中学校教育研究会 学校図書館部

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

小学校

- ・コンピュータ化(サーバーは教育センターにあり。LB@SCHOOL(FUJITSU)でデータを共有)

中学校

- ・蔵書をデータ化し、コンピュータにより管理

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

小学校

- ・従来の図書室の他、1教室分の広さで低学年用図書室が全小学校に設置
- ・公共図書館の小学校向けのサービスとして「もうようんだかな」セット(図書館おすすめの本のセット)を1学期間、学校に学年毎に貸し出しをしている。また、団体貸し出しとして自動車文庫を利用した「ごりまる便」を月に1回。たくさんの学校が利用している。

中学校

- ・平成26年度特別予算が付き学校図書館標準蔵書数についてすべての学校が100%となった。

<摂津市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・全小中学校に司書教諭1人以上配置
- ・小学校10校に読書サポータを配置

中学校

- ・5校に読書活動推進サポータの配置(各校1名)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

小学校 市教研学校図書館教育部会

(鳥飼西小学校の山崎 隆史先生代表)

- ・月1回会議
- ・1月に読書感想文表彰式

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

小学校

- ・未定 2月発表
- ・市教研 教研集会

中学校

- ・特になし

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

小学校

- ・コンピュータ化(蔵書データ共有)

中学校

- 蔵書管理は各校、コンピュータ化
- ・情報BOX ライブラリーサーチ
- ・MARC

5. 各市町村の学校図書館に関して、特徴的なこと

小学校

小中学校の各校に1名サポータを配置している
「読書ノート」の取り組み

中学校

読書活動推進サポータ間での交流をもとに、図書館運営、図書だより等の活動の充実と、生徒への啓発に取り組んでいること。

<茨木市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・図書館支援員の全校配置
- ・物流システムの導入（市立図書館・各学校間）
- ・図書館部の研究授業は市主催の司書教諭連絡会との共催で実施

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

茨木市教育研究会 図書館部会

部長 斉藤美果 先生 茨木市立春日丘小学校

5月 市教研総会 年間計画

6月 三島地区図書館協議会総会・夏季研修会
発表

6月 講演会「ビブリオ・バトルとは」・
ワークショップ「ビブリオ・バトル体験」

9月 読書感想文審査会

11月 市教研集会発表

12月 読書感想画の審査と研修

2月 研究授業、研究討議会

3月 活動報告のまとめとして冊子作成

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・休み時間の図書館の開館 ・図書の整理
- ・調べ学習 ・図書委員による読み聞かせ
- ・読書週間での取り組み
(学校図書館を利用した授業・読書活動を豊かにするための実践)
- ・研究授業 研究討議会
「4年国語科 好きな本をみんなに報告しよう『ミニ・ビブリオバトル』」
授業者 茨木市立山手台小学校
立田 裕美教諭
講師 吹田第六小学校首席 古川順子氏
- ・各種研究会などでの報告
6月 三島地区図書館協議会総会・夏季研修会
「読書感想画の取り組み～どんどん かくのは たのしいな～」
発表者 茨木市立東小学校
阿部 ちさと教諭

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・図書館管理ソフト「りいぶる」による蔵書管理

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・各校の蔵書をデータ化し、オンライン化することで相互検索ができる。
- ・物流システムにより、中央図書館を含み相互貸し出しができる。
- ・全校に絨毯敷の第二図書室が完備されゆったりと本を読むスペースが確保されている。
- ・従来から図書館教育の研究を熱心に行い、府や三島地区の図書館協議会でも多数報告するなど、実践発表も積極的に行っている。
- ・H26年度より図書館支援員が全校配置され、司書教諭と連携し、図書ボランティア活動の活性化、図書の環境整備の充実が図られている。

<高槻市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

小学校

- ・高槻は各小学校に市費で**図書館支援員**を各校に一人配置している。図書の時間や 20 分休みと昼休みの開館を支えている。支援員さんを対象とした読み聞かせを学ぶ研修や図書館運営や蔵書管理の研修も進んでいる。更に、調べ学習を充実させるサポート研修の充実を期待している。

中学校

- ・読書支援員の配置（週 2 回 12：30～17：00）

全体

- ・公立図書館の事業として「まちごと子ども図書館」（各校への長期貸し出し。150冊～200冊）を行っている。調べ学習への利用を目的とした「テーマ別セット貸し出し」や読み物を中心とした「団体貸し出し」がある。
- ・高槻市の図書館協議会に学校関係者代表として 1 名が委員として参加。学校図書館と公立図書館との事業が学校に効果をもたらすものとなるように検討を促している。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

小学校

- ・図書館支援員連絡会が、高槻市教育委員会主催で行なわれている。
- ・図書館支援員への研修も行われている。

中学校

- ・読書支援員への連絡、研修が行われている。

全体

- ・市内小中学校全校から、協議員が選出され、**学校図書運営協議会**を組織している。校長会・教頭会の役員と教育委員会事務局と公立図書館の担当者も総会や部会には参加している。「事業部」「図書館教育部」「運営・管理部」と三部会に分かれて、一年を通して活動をしている。各部の主な活動は下記の通り。

《事業部（第一部会）》

- ・大阪 S L A、三島 S L A 関係の事業担当。
- ・高槻市読書感想文関係の担当。大阪府読書感想文コンクールならびに読書感想画中央コンクールの地区予選の審査運営業務を担当。
- ・高槻市読書感想文コンクールの企画、運営、冊子のまとめ等を担当。

図書館教育部（第二部会）

- ・子ども達への読書指導に対して課題を掘り起こし、課題解消のための取組を交流、発信。
- ・市内の学校図書館の見学や外部講師の講演の企画、運営。
- ・お勧め図書ガイドの作成。
（見学、講演、ガイド作成は、毎年ではない）

運営・管理部（第三部会）

- ・司書教諭、公立図書館との連携
（セット貸し出しについて、学校への効果や学校の要望、公立図書館からの意見などを交流）
- ・学校図書館の管理、運営の手続き
（学校図書館内の配架の交流、本棚の整備や改修の工夫、施設要望の交流整理など）

3. 学校図書館の具体的な活動例について

小学校

- ・全学年で図書の時間には絵本の読み聞かせ、紙芝居、本の紹介を行っている。
- ・学校館内の図書の貸借だけではなく公立図書館との仲介も行い、調べ学習の選書と貸出をする。
- ・週 4 日開館し、20 分休みや昼休みに貸し出し返却をしている。（ボランティアで毎日もある）

中学校

- ・読書支援員さんがおられる日に、貸し出しや返却。総合や特活での調べ学習。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

全体

- ・蔵書はコンピュータ化されている（TRC の M A R C を利用している）
- ・購入本については本のデータと一緒にすべてコンピュータ管理されている。
- ・寄与本は各校によってコンピュータ管理されている学校とされていない学校に別れる。
- ・富士通ビジネスシステムの school@lib による蔵書管理。購入図書の書誌・所蔵登録は Tool-is のデータを利用している学校もある。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

全体

- ・2011 年視の大型予算により、小中学校全校で蔵書基準値達成
- ・公立図書館との連携が強く、今後の調べ学習の充実に向けて研究中である。

<島本町>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

小学校図書館担当職員（計2名）

中学校図書館担当職員（計2名）

図書館アドバイザー派遣事業（年間20回校）

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

図書教育部会 H28度 研究目標

「授業で図書室や図書を活用し、児童が図書に親しむ機会の増加や図書室の活性化を図る。」

「図書室が各教科と連携し、情報センターとして活用できるよう、年間指導計画を見直す。」

5月 28年度 研究テーマ決定

町立図書館・学校図書館交流会

6月 各校の図書館運営方針

図書館年間計画の確認

7月 各学校の取り組み報告

三島地区秋季研修会の内容検討

9月 大阪府読書感想文コンクール審査

10月 三島地区秋季研修会

11月 各校の取り組み報告、

12月 本年度のまとめ・課題の検討

次年度の研究テーマ素案 検討

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

小学校

- ・春、秋の読書週間の実施
- ・児童による本の紹介カード作成の取り組み
- ・図書館専属職員による読み聞かせ
- ・ブックトーク
- ・学校行事に合わせた調べ学習への対応
- ・図書や図書室を使って調べ学習
- ・地域ボランティアによる読み聞かせ
- ・「読書の木」の取り組み

中学校

- ・春、秋の読書週間の実施
- ・読書月間の実施
- ・教職員による本の紹介カード作成
- ・読書ボランティアサークルによる春、秋の読み聞かせ

・校外学習での事前調べ学習

・生徒委員会（図書委員会）による、ブックフェア

・「読書の木」の取り組み

・お話宅急便

（図書委員による学童室への読み聞かせ）

・shima 2 bookmark

（教師によるお薦め図書の紹介を冊子にしたもの）

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

島本町全ての小中学校でデータを管理している。

使用ソフト：「はいばーえる」

5. 各市町村の学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・町内全校で図書室を利用した授業の計画的運用を開始。
- ・学校図書館専属職員が配置され、司書常駐（中学校）が定着した。参観・学校公開時には来校者の入室見学を実施している。
- ・地域ボランティアによる読み聞かせ活動が充実している。